

2 令和2年度予算を見てみよう

もっと知りたい
あなたに

1 市のお財布はどうなっているの？



藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。つまり、3種類のお財布があって、お金の出し入れをしています。

一番大きいお財布が「一般会計」です。

1,480億
5,600万円
一般会計

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。

令和2年度の当初予算の額は、1,480億5,600万円(※骨格予算)になっています。

※骨格予算とは、義務的経費や、継続的に実施している事業の経費などを計上した予算のことです。令和2年度予算を決める年が市長選挙の年だったため、令和2年度当初予算は骨格予算として編成し、補正予算で施策の肉付けを行うこととしています。

次のお財布は「特別会計」です。

767億
1,699万円
特別会計

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費… 26億8,012万円
- 湘南台駐車場事業費 …………… 5,328万円
- 墓園事業費 …………… 6億1,761万円
- 介護保険事業費 …………… 291億 162万円
- 国民健康保険事業費 …………… 378億5,018万円
- 後期高齢者医療事業費 …… 64億1,418万円

※柄沢特定土地区画整理事業費については、事業完了に伴い平成30年度をもって廃止されました。

最後のお財布が「公営企業会計」です。

437億
9,162万円
公営企業会計

民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

- 下水道事業費 …… 202億1,007万円
- 市民病院事業 …… 235億8,155万円



全会計 **2,685億6,461万円**

● 予算規模の推移



一般会計も
特別会計も
10年間で
増えたね



令和2年度の一般会計の当初予算は、骨格予算ではありますが、子育て支援や学校教育環境の充実、東京2020大会関連経費などにより、前年度の当初予算と同規模となっています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、介護保険事業における介護給付費や市民病院事業における人件費などが伸びているため、前年度の当初予算に比べ増加となっています。

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの？

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、令和2年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
967億7,805万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



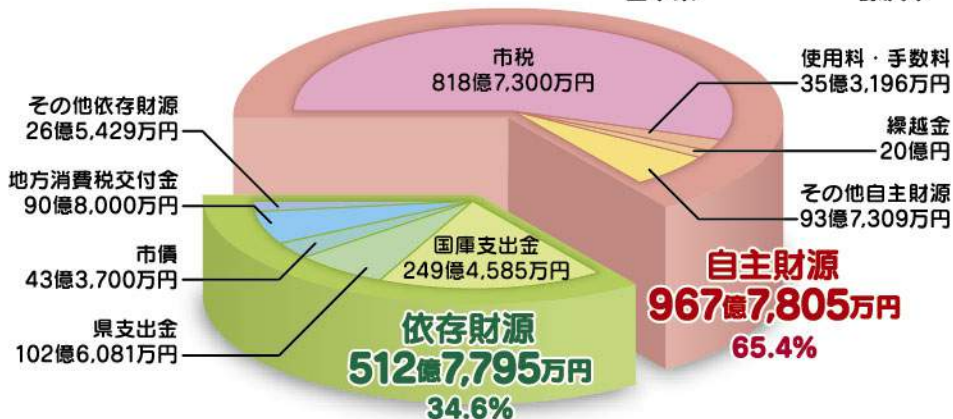
依存財源
512億7,795万円

道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国や県が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

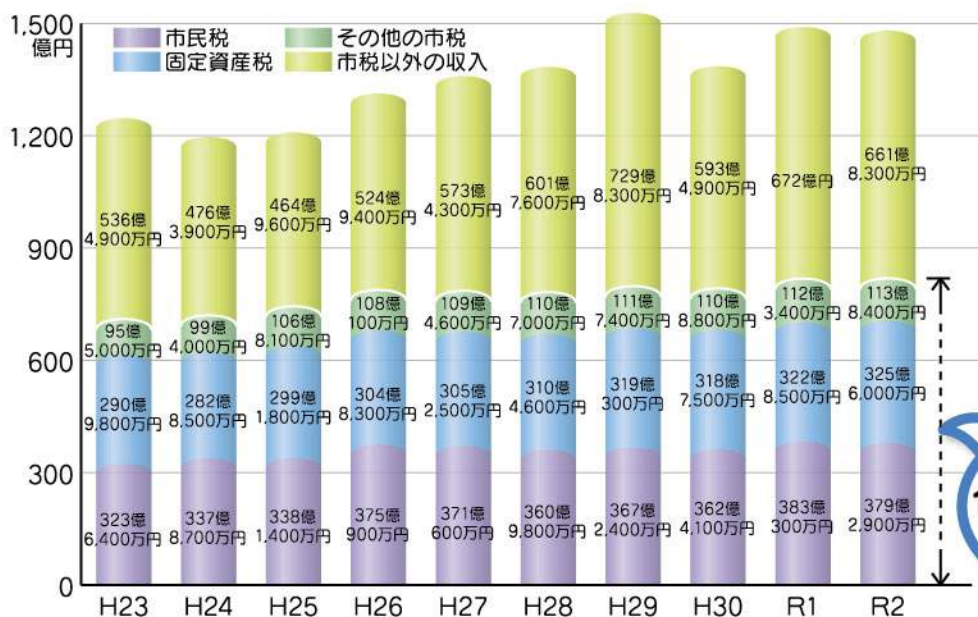


● 令和2年度 歳入予算の内訳

藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。



● 一般会計歳入予算に占める市税の推移



およそ半分が市税なんだ...

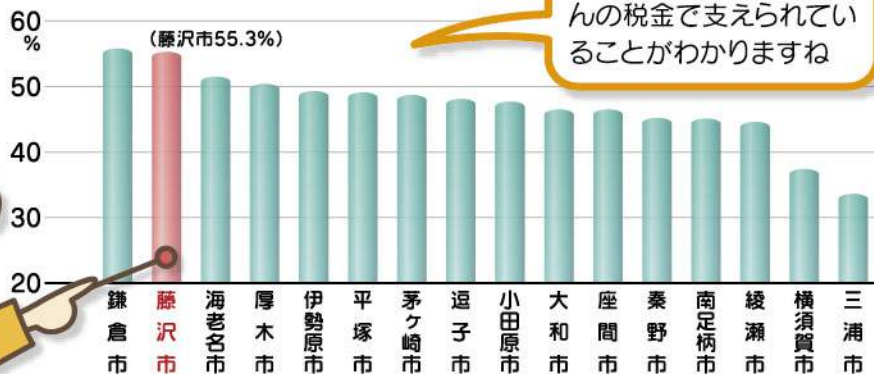


歳入総額
1,480億5,600万円の
55.3%が市税

令和2年度予算の市税収入は、個人市民税や固定資産税の増額を見込んでいるものの、法人市民税の減額を見込んでいるため前年度と同程度となっていますが、基金からの繰入金や地方債を減額したことなどにより、歳入全体に対する市税の割合は増加しています。

●歳入予算に占める市税の割合(県内16市との比較)

藤沢市は県内16市中
第2位です



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

コラム 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません。例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…

藤沢市の予算

こうなります。

歳入	
市税	818億7,300万円
使用料、手数料など	149億 505万円
【自主財源合計】	967億7,805万円
国・県支出金など	469億4,095万円
市債の発行	43億3,700万円
【依存財源合計】	512億7,795万円
歳入の合計	1,480億5,600万円

歳出	
人件費	292億2,129万円
扶助費	430億3,044万円
物件費	261億 711万円
投資的経費・維持補修費	105億 101万円
公債費	87億 494万円
繰出金・補助費など	281億 533万円
積立金・貸付金など	23億8,588万円
歳出の合計	1,480億5,600万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収入	
お父さんの給料	22万7,000円
お母さんのパート代	4万1,000円
【給料などの合計】	26万8,000円
その他臨時収入	13万円
銀行からの借入	1万2,000円
【臨時収入の合計】	14万2,000円
収入の合計	41万円

支出	
食費	8万1,000円
医療費・保育料	11万9,000円
光熱水費や被服代	7万2,000円
家の増築・修理、家財購入	2万9,000円
住宅ローン返済	2万4,000円
子どもへの仕送り	7万8,000円
貯金	7,000円
支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) **718億1,538万円** 家計簿に例えると **242万5,000円**
 預貯金の残高(基金残高) **183億2,422万円** 家計簿に例えると **61万9,000円**

※平成30年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で65.4%を占めています。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。



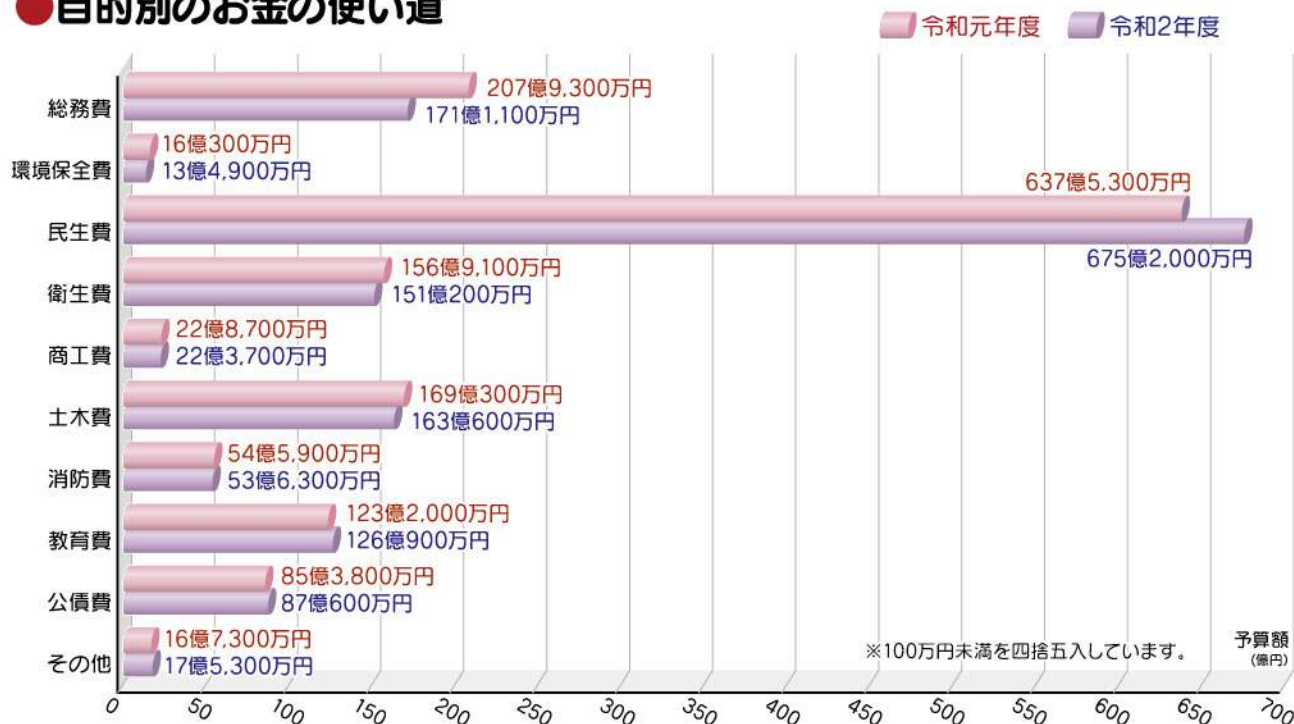
3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの？

入ってきたお金は、どのように使われるのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、福祉や子育てのほか、道路や学校などをつくったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金が使われます。



● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)やその他の社会保障施策に使われます。